

図2 河口部・湾中央部の無機栄養塩・サイズ別クロロフィル a 濃度の変動 (単位はすべて $\mu\text{g}/\ell$)

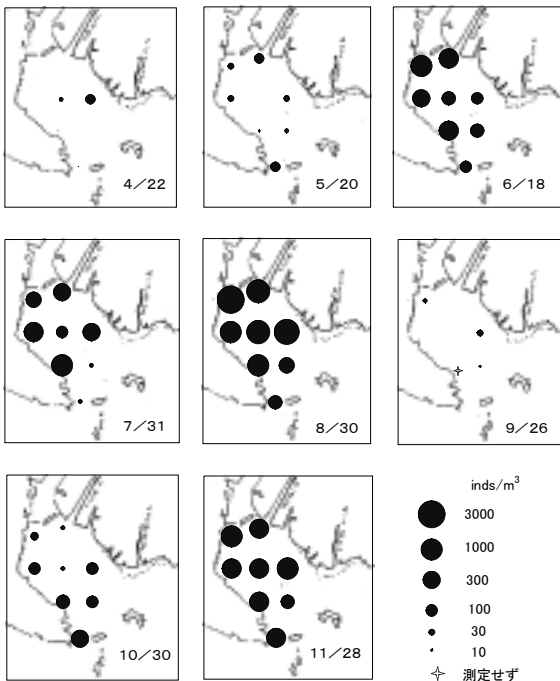


図3 アサリ着底期幼生の出現状況

め、漁獲サイズに達した稚貝が順次取り上げられていったこと、生息場が恒常的に攪乱されたこと等により、幼

生の供給から漁獲サイズに至るコホートの一貫した追跡を困難にしたものと考えられる。今後は操業による攪乱が少ない冠水域における調査手法を確立し、生活史を通じた個体群動態の把握が必要であろう。

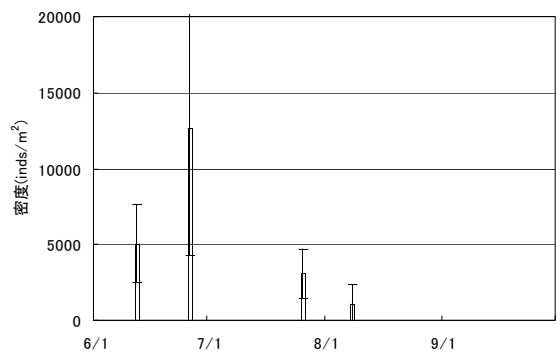


図4 河口における初期着底稚貝の出現状況

参考文献

- 1) 松村貴晴・岡本俊治・黒田伸郎・浜口昌巳 (2001) 日本ベントス学会誌, 56, 1-8.
- 2) 尊田佳子 (2003) 愛知水試研究業績C-136, 34pp.